

2026年3月期 決算説明資料

2026年4月30日

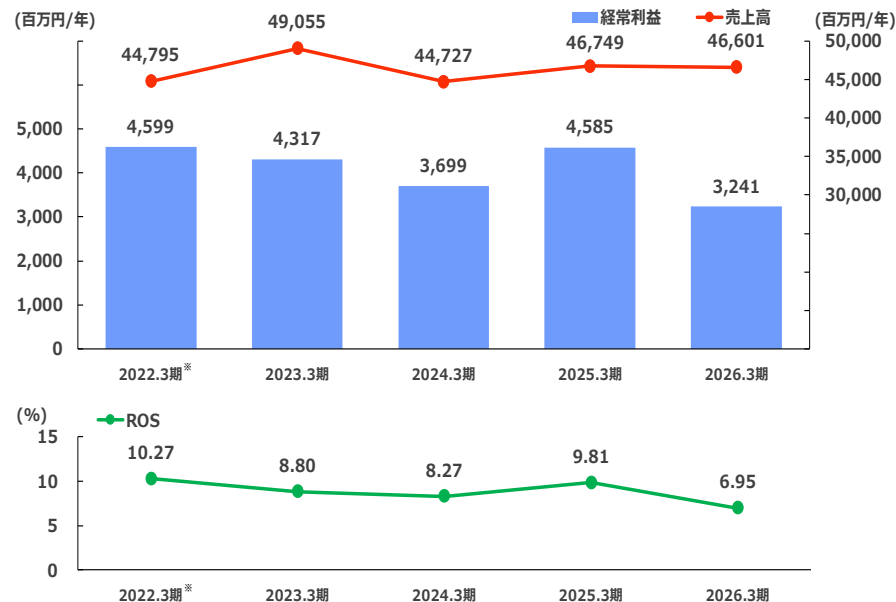
連結売上高・経常利益推移

(百万円/年)

		2025.3	2026.3	増減
セグメント	売上高	46,749	46,601	▲148
	日本	41,479	41,325	▲154
	タイ	3,855	3,933	78
	中国・韓国	1,414	1,342	▲72
セグメント※	営業利益	4,576	3,077	▲1,499
	日本	4,203	2,799	▲1,404
	タイ	151	125	▲26
	中国・韓国	291	204	▲87
経常利益		4,585	3,241	▲1,344
親会社株主に帰属する当期純利益		3,250	2,147	▲1,103

サマリー（前期比）

- ★金属繊維部門は堅調もステンレス極細線の需要が引き続き低迷し減収減益
- ★中国の連結子会社を解散、特別損失計上



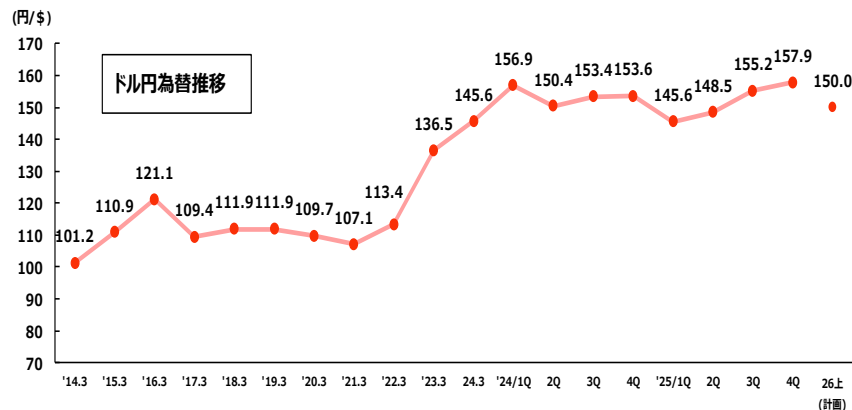
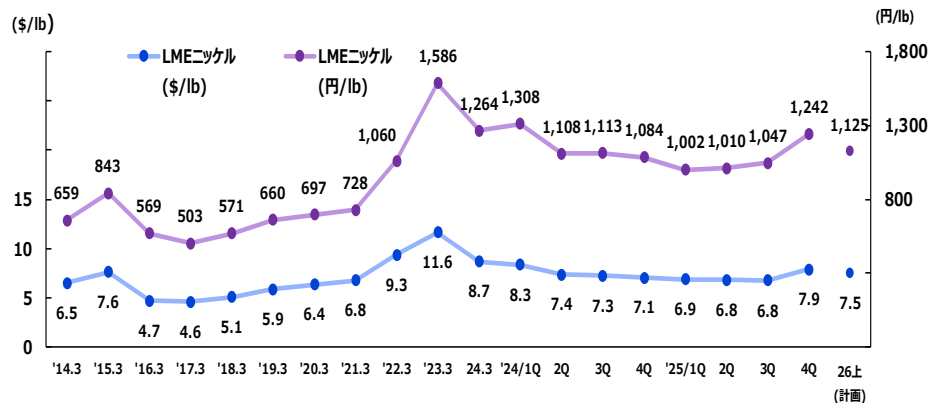
※タイ精線の決算期を変更（2月→3月）

21/1Qのみ4か月分計上。

3月度タイ精線単体：売上高401百万円、経常利益36百万円

※セグメント利益調整前のため合計とは一致しない

LMEニッケル価格 為替レート

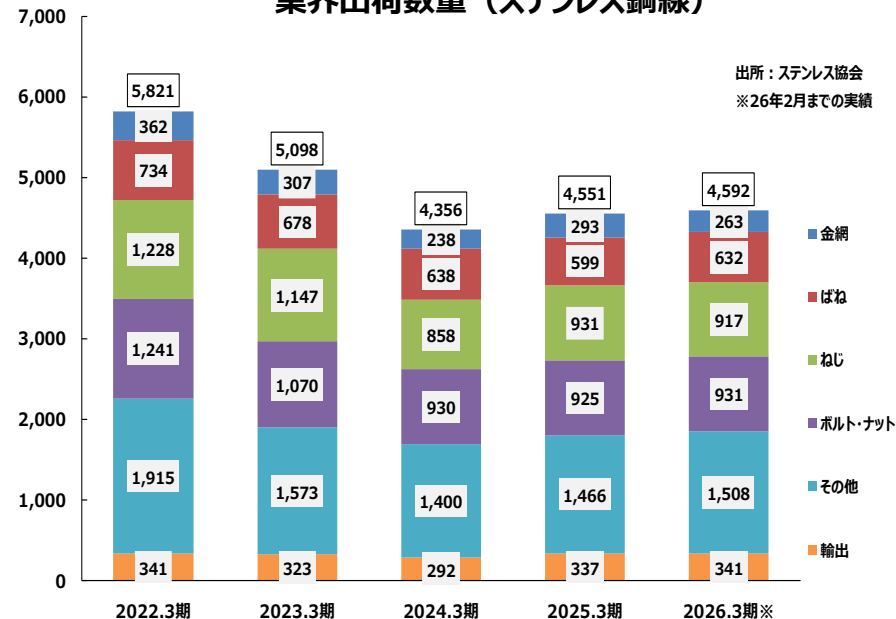


サマリー

- ★ LMEニッケル（\$ /lb）価格は1～3Qは緩やかな下落基調で推移するも、4Qは反転
- ★ 業界出荷数量は23年度に底打ちも引き続き低調に推移

(トン/月)

業界出荷数量（ステンレス鋼線）

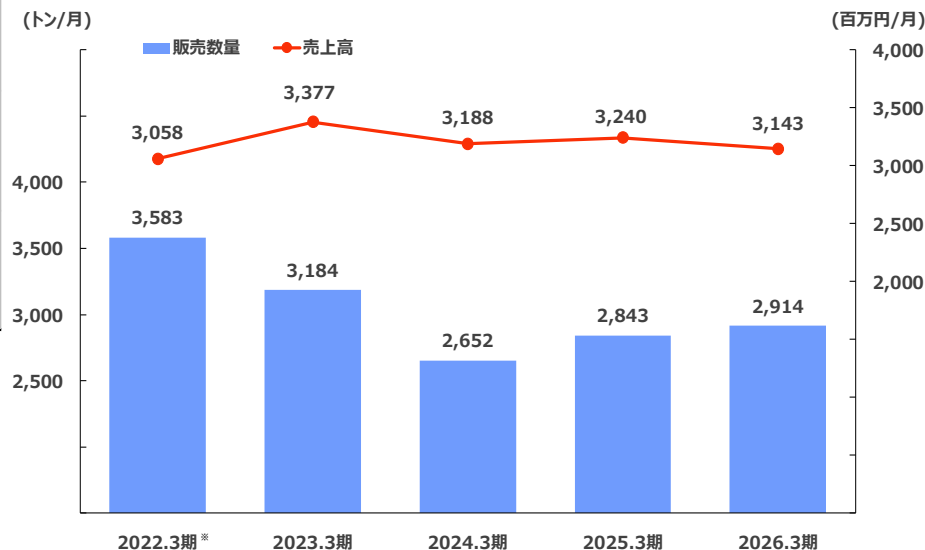


部門別売上高の状況（ステンレス鋼線）

	2025.3	2026.3	増減	
販売数量 (トン/月)	2,843	2,914	71	
売上高 (百万円/月)	3,240	3,143	▲ 97	
セグメント	日本	2,890	2,773	▲ 117
	タイ	321	327	6
	中国・韓国	28	41	13

サマリー（前期比）

- ★ 高機能・独自製品の一部アイテムで数量増
- ★ 極細線は中国での太陽光発電パネル在庫調整の影響継続とステンレス以外の金属への置き換えの動きもあり大幅減



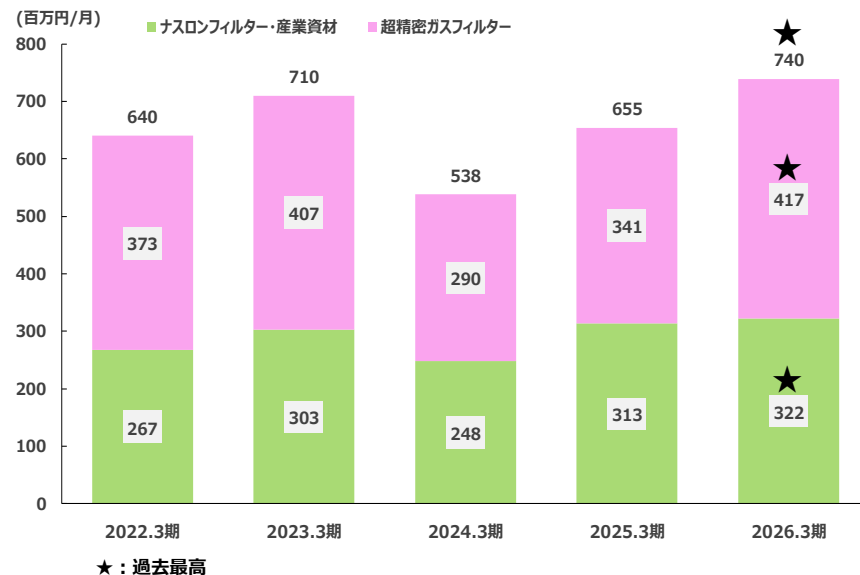
※タイ精線のみ21/3～22/3月の13か月分を12か月分に補正して計上。

部門別売上高の状況（金属繊維）

売上高 (百万円/月)		2025.3	2026.3	増減
超精密 ガスフィルター		341	417	76
ナスロン®フィルター 産業資材		313	322	9
合計		655	740	85
セグメント	日本	566	669	103
	タイ	-	-	-
	中国・韓国	88	70	▲ 18

サマリー（前期比）

- ★ 超精密ガスフィルターは半導体需要の高まりを背景とした需要増で堅調
- ★ ナスロン®フィルターは炭素繊維関連の海外向け大型案件で増加



	2025.3	2026.3	増減
高機能・ 独自製品 (百万円/月)	2,587	2,565	▲ 22
汎用品 (百万円/月)	1,308	1,318	10
高機能・ 独自製品比率 (%)	66.4	66.1	▲ 0.3

高機能・独自製品一例

★ステンレス鋼線

・ばね用材

高強度や高耐熱、超非磁性のニーズに応じたオーダーメイド製品。
医療関係や精密電子機器、次世代の水素社会を支える素材

・極細線

線径100μm未満の製品を総称し、高精度・高細密が要求される太陽光発電パネルや電子部品の製造プロセスに欠かせない素材

★ナスロン®フィルター

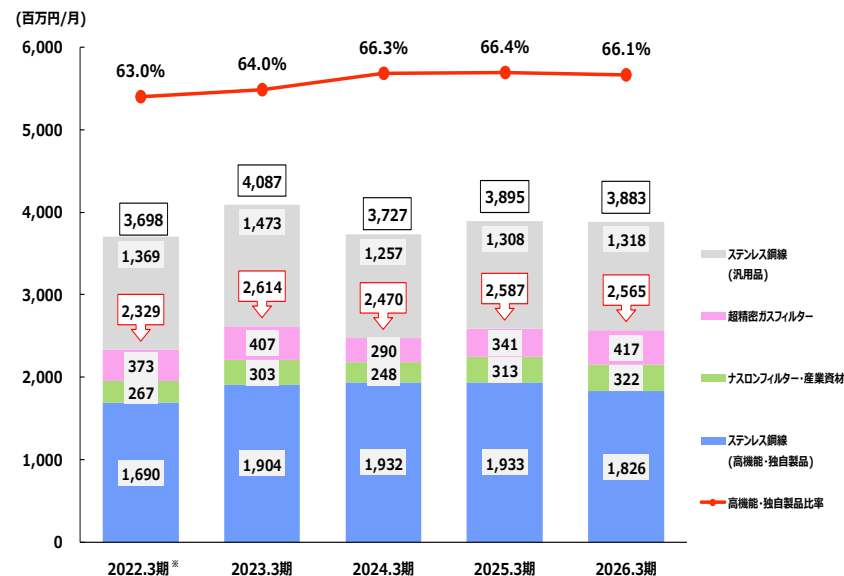
ステンレス鋼繊維ナスロン®を用いた高機能メタルフィルター。高強度、高耐熱で耐食性も優れており、フィルムや樹脂、炭素繊維などの製造の濾過プロセスで利用

★超精密ガスフィルター

ナスロン®をもとに製作したメタルメンブレン（膜）フィルター。半導体・フラットパネルディスプレイ等の生産過程でガスの濾過に利用され、半導体製造装置などに組み込まれる

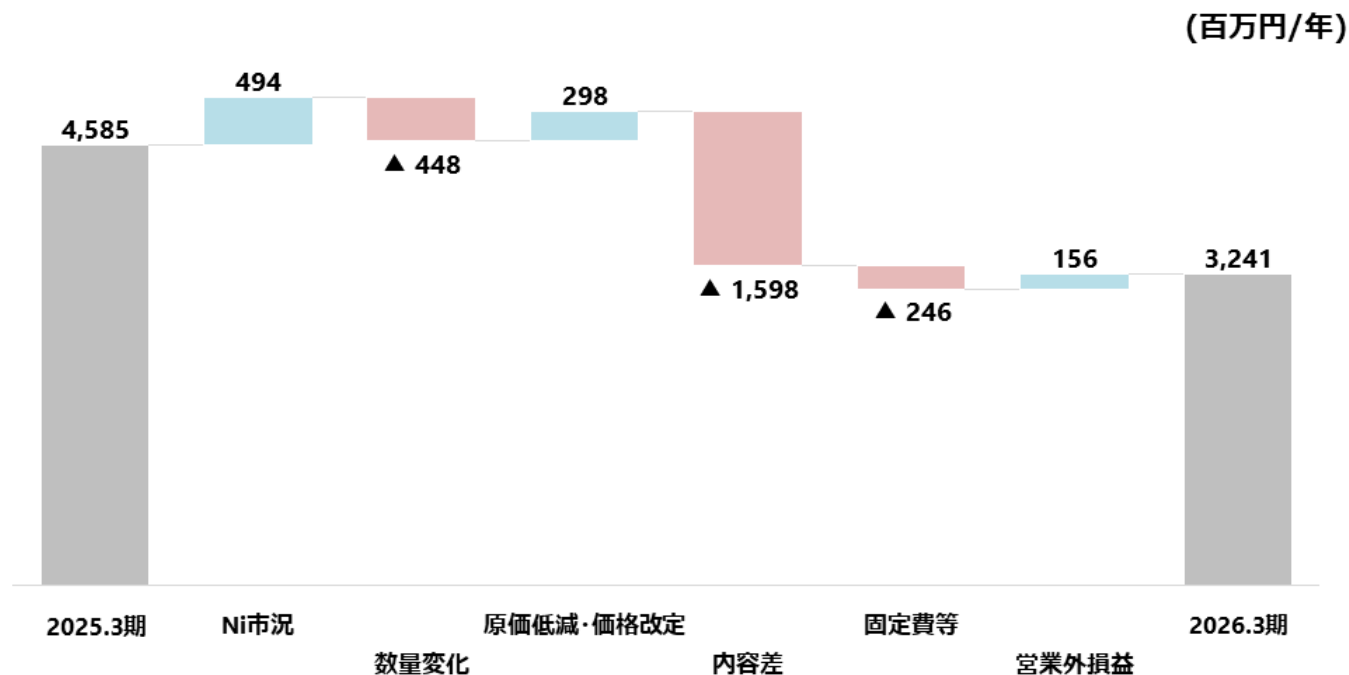
サマリー（前期比）

- ★ステンレス鋼線は日用品や電子部品向けなど一部アイテムで増加も極細線減少の影響大
- ★超精密ガスフィルター・ナスロン®フィルターは堅調に推移



※タイ精線のみ21/3～22/3月の13か月分を12か月分に補正して計上

経常利益の変化要因（前期対比）



サマリー

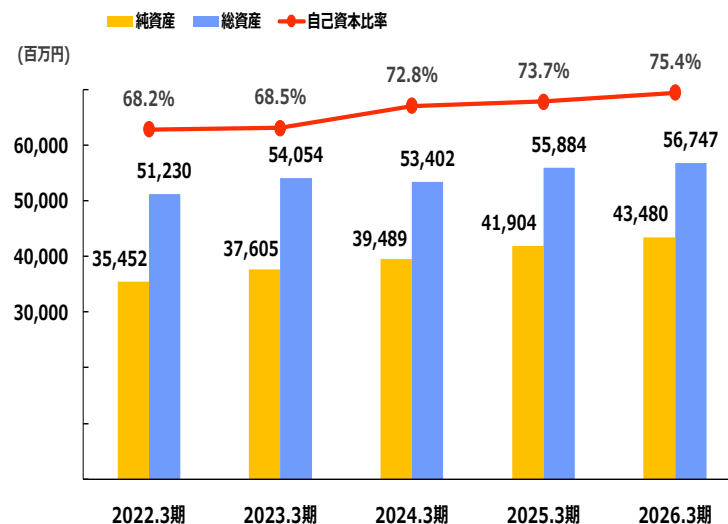
- ★ Ni市況：Ni価格下落に伴う材料仕入値下がり益の増加
- ★ 数量変化：ステンレス鋼線の販売量微増も、極細線数量減による稼働損が増加
- ★ 内容差：超精密ガスフィルターは堅調も、極細線の粗利大幅減
- ★ 固定費等：労務費増（ベースアップ実施）

総資産・純資産・自己資本比率

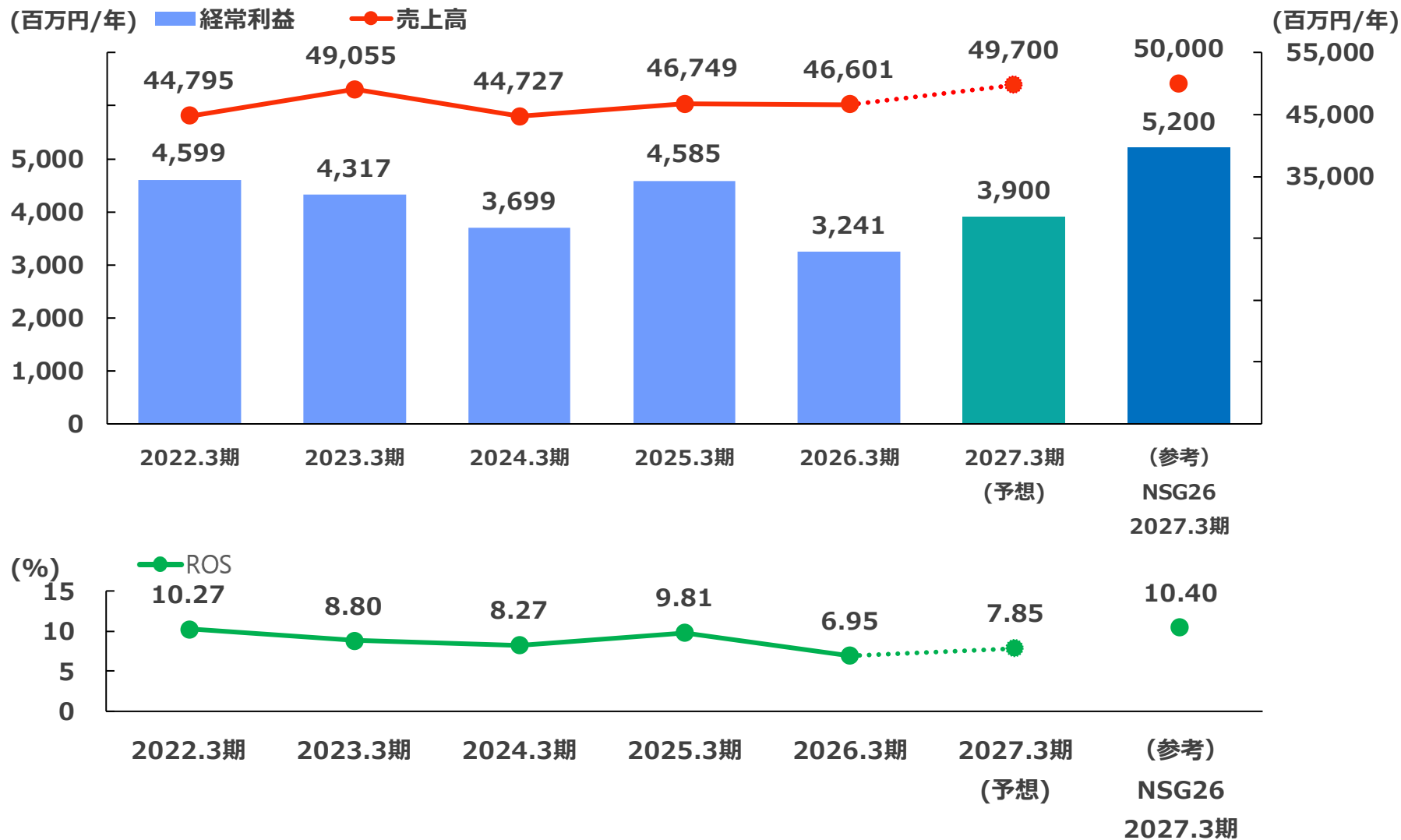
単位：百万円	24年度末	25年度末	増減
流動資産	38,121	37,345	▲776
現金及び預金	17,065	16,768	▲297
売上債権	9,769	9,808	39
棚卸資産	10,947	10,544	▲403
固定資産	17,763	19,402	1,639
有形固定資産	15,745	17,519	1,774
資産合計	55,884	56,747	863
負債合計	13,980	13,267	▲713
仕入債権	6,479	6,464	▲15
退職給付に係る負債	4,212	3,976	▲236
純資産合計	41,904	43,480	1,576
株主資本	39,393	40,215	822
負債・純資産合計	55,884	56,747	863

サマリー（前期末比）

★サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の開発・増産投資及び省力化・省人化やCO2削減に向けた投資を着実に実施

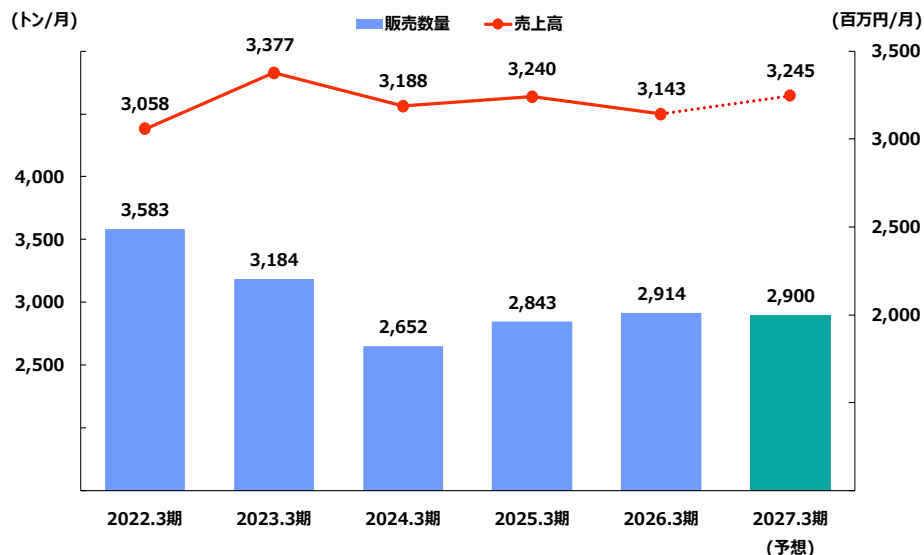


2027.3期 連結業績見通し

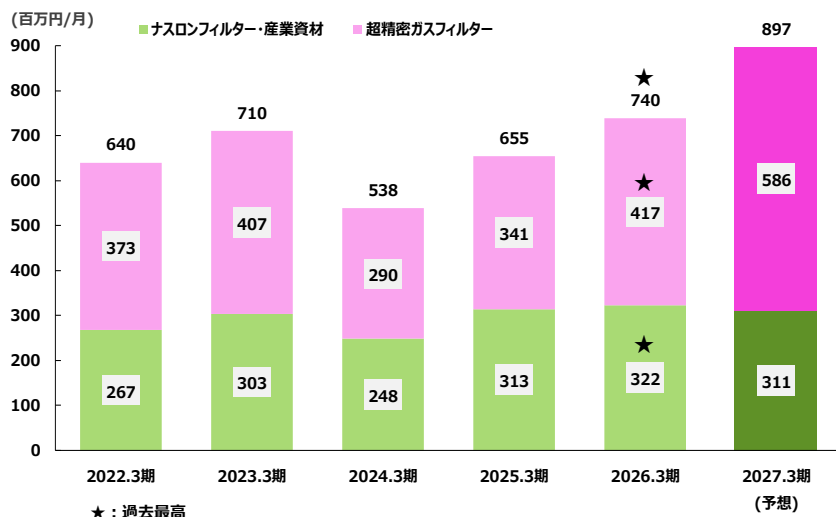


部門別及び高機能・独自製品売上高の見通し

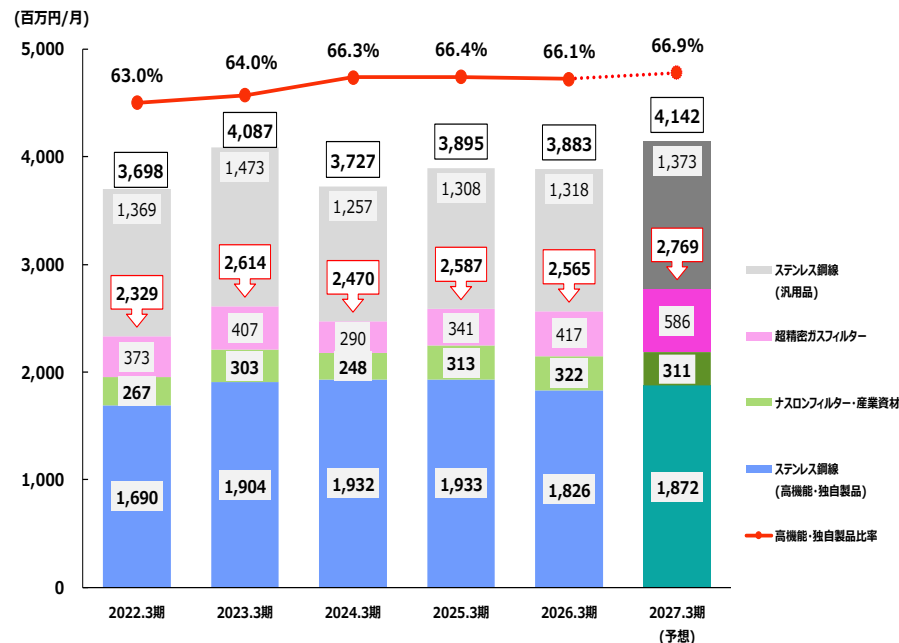
<ステンレス鋼線>



<金属繊維>



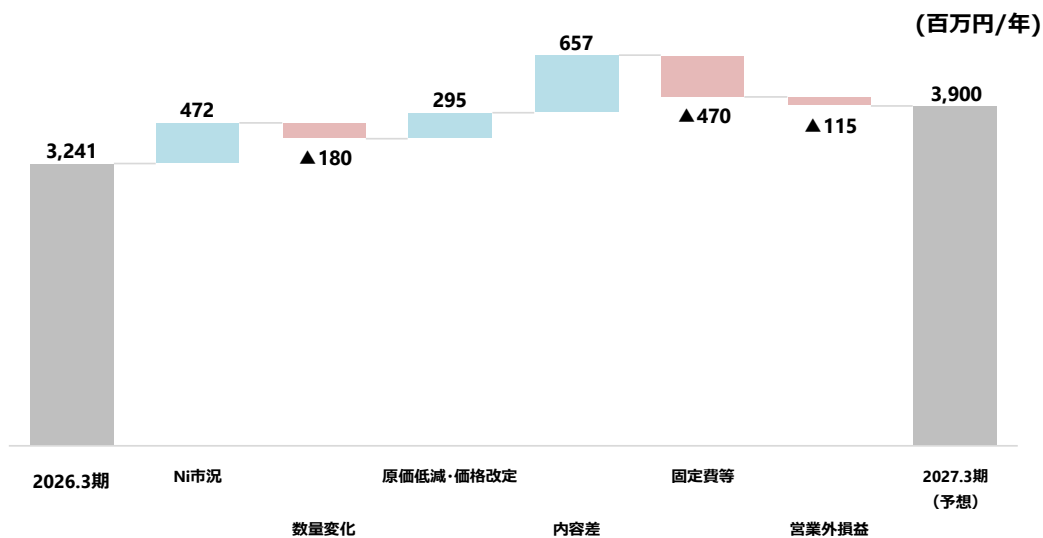
<高機能・独自製品>



サマリー

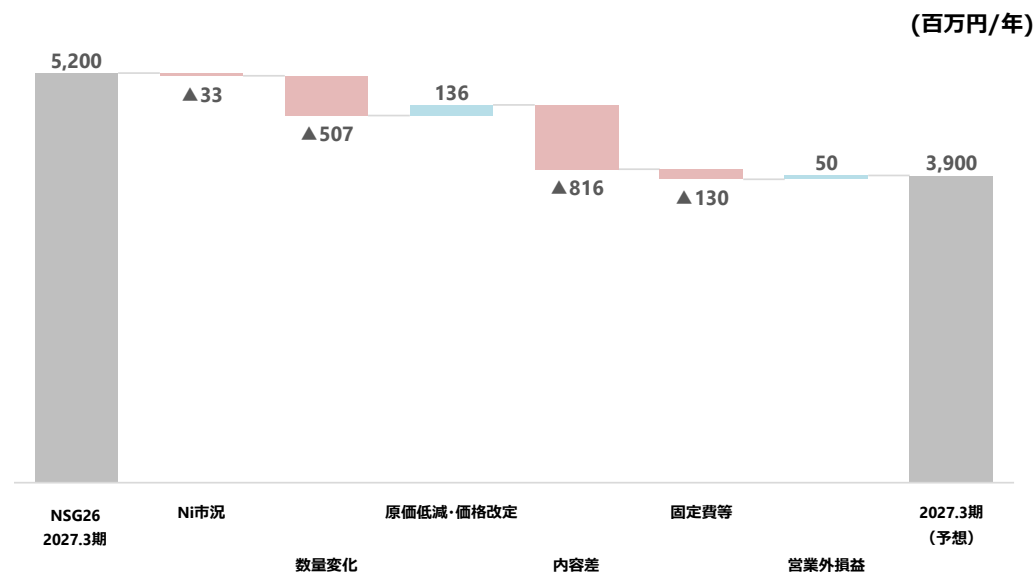
★ 極細線は太陽光発電パネル向けが引き続き低調に推移する見通しも、超精密ガスフィルターが大きく伸長

経常利益の変化要因（次期予想評価）



サマリー（当期対比）

- ★ 超精密ガスフィルター販売増で内容差改善、ベースアップや原油及びその由来製品の価格上昇によるユーティリティや副資材費のコストアップ想定分を織り込み



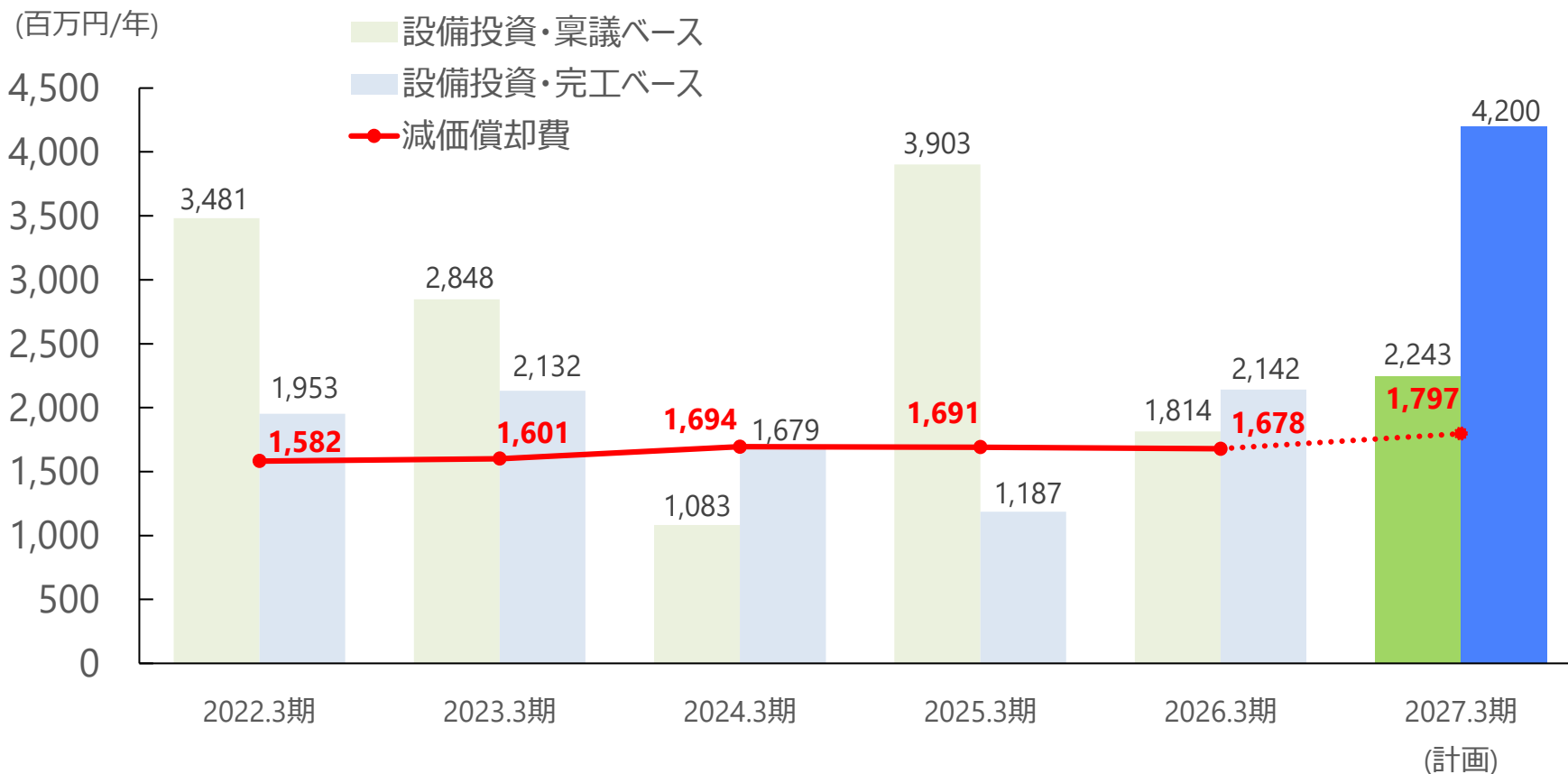
サマリー（中期計画対比）

- ★ 金属繊維部門は中期計画を上回る見通しも極細線が太陽光発電パネル向けで計画比大幅減、内容差及び工場稼損への影響大

単位：億円

中期計画レベルの投資実績となる見通し

3年間累計	NSG26	実績見通し
稟議ベース	77	79
完工ベース	77	75



	2026.3期		2027.3期（予想）	
	中間期	通期	中間期	通期
経常利益 (百万円)	1,242	3,241	1,550	3,900
当期純利益 (百万円)	902	2,147	1,100	2,800
配当 (円／株)	16	42	18	46
配当性向 (%)	54.4%	60.0%	50.2%	50.5%

〔株主還元の方考え方〕 連結配当性向50%程度を目途に還元

■ 経営の監督機能強化

独立社外取締役を1名増員、取締役の過半数となる4名体制
女性取締役1名増員、多様性強化

■ 「グリーンボンド」への投資

大阪市の環境投資（路線新設により鉄道利用を推進しCO2排出を削減する取り組みなど）に充当され、当社の本業を通じたサステナビリティへの貢献と相乗効果に期待

※グリーンボンドとは、環境改善効果等を有する事業に限定して資金を調達するために発行される債券

詳細はこちら→https://www.n-seisen.co.jp/ir/document/pdf/news_japanese_20260123_69730ac93c2cd.pdf

■ 健康経営優良法人『ホワイト500』に2年連続認定

経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する健康経営優良法人（大規模法人部門）に7年連続で選定、上位500法人であるホワイト500に2年連続で認定

詳細はこちら→https://www.n-seisen.co.jp/ir/document/pdf/news_japanese_20260312_69b2782c8af76.pdf

■ サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の開発・拡販

- ★ 急増する半導体需要への確実な対応と更なる需要増に向けた生産体制構築
- ★ 医療用材（注射器、内視鏡、カテーテル等）の拡販
- ★ 海外拠点の活用と最適生産体制構築

■ 生産性向上

- ★ 生産性向上に向けた省人化・自動化への投資
- ★ 生成AIの業務活用推進

■ ESG経営

- ★ CGコード改定への対応（資本政策、資本配分の説明等）
- ★ 人的資本強化（新教育体系の本格運用、採用の多様性推進）



(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で利用される場合におきましても、各自の判断と責任において利用されるものであり、本資料にある情報の利用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。